

## 山口県周南市におけるオオクチバスの密放流事例について

辻 雄介<sup>1)</sup>

オオクチバス（ブラックバス、ラージマウスバス）*Micropterus salmoides*はスズキ目 Perciformes サンフィッシュ科 Centrarchidaeに属す淡水魚の一種である（赤星，1996）。北アメリカ南東部の固有種であるが、食用や遊漁の対象魚として世界各地に移入されている。日本国内では1925年に神奈川県芦ノ湖へ放流されたのが初めて、その後、現在までに全都道府県に広がっている（赤星，1996；丸山，2002）。侵入地での侵略性の高さから、日本の侵略的外来種ワースト100、世界の侵略的外来種ワースト100に選定されており（国立環境研究所 侵入生物データベース<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/50330.html> 2020年6月11日確認）、2005年に施行された外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）では特定外来生物に指定され、生きた状態での運搬・販売・放流・輸入・飼養等が原則禁止されている。

筆者は水生昆虫類の生息状況調査中、山口県周南市において近年のオオクチバス放流事例を確認している。既に県内ではほぼ全域に広がっているが（畑間，2006）、事例蓄積のため、ここに資料として記録しておきたい。

### 概 要

場所は山口県周南市の山間部にある農業用のため池（希少な水生昆虫が生息しているため、具体的な地名などは伏せる）である。面積は約2,000～3,000㎡、平均水深1mほどの小規模な農業用（水田）のため池で、河川や周辺のため池からは独立している。池内はヒルムシロ類*Potamogeton* sp.が優占しており、他にはタスキモ類*Utricularia* sp.などが確認された。水生甲虫ではヒメミズスマシ*Gyrinus gestroi*（ミズスマシ科）やクロゲンゴロウ*Cybister brevis*（ゲンゴロウ科）といった環境省レッドデータブック掲載種が多く生息している（「環境省レッドリスト2020の公表について」<https://www.env.go.jp/press/107905.html> 2020年6月26日 確認）。

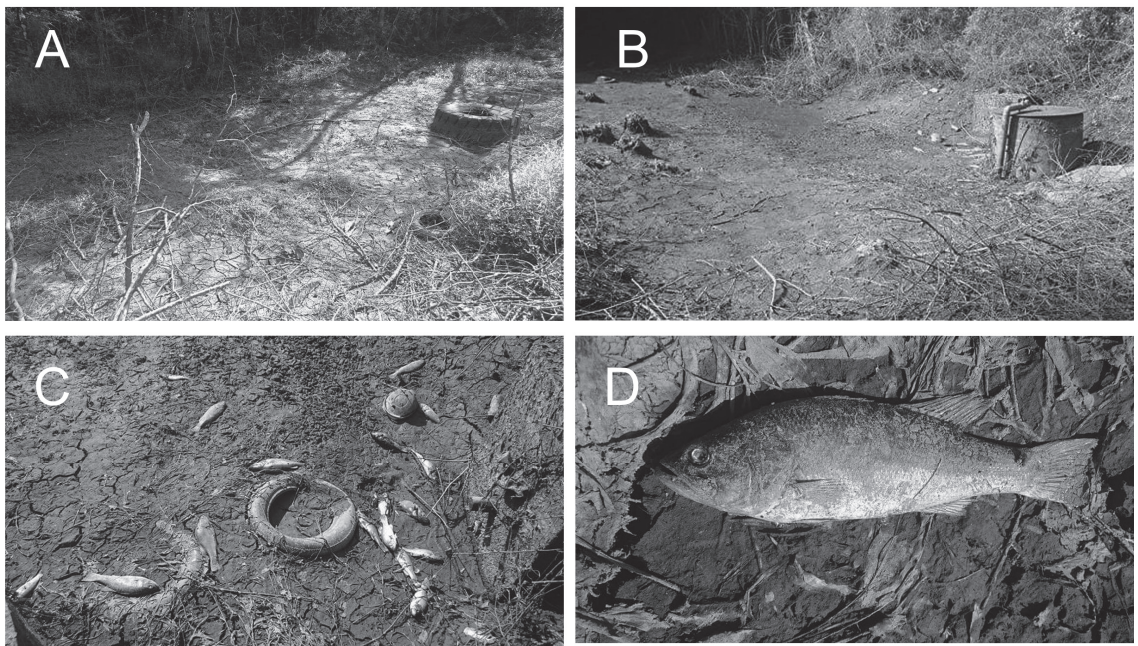
当地でオオクチバス（以下、バス）の移入を確認したのは2017年6月である。水生昆虫類の生息状況確認のため当地を訪れた所、体長20～30cm程のバスを約5個体、仔稚魚の魚群を2集団発見した。仔稚魚についてはその場で陸に上げてできる限り処理をしたが、成長した個体については1個体のみしか捕獲できなかった（現地で処分）。当地には2012年から2019年にかけて定期的（年1～2回ほどのペース）に訪れ（※筆者は2013年3月～2020年3月まで山口県岩国市に在住）、池全体を簡易的に調査していたが、2017年6月までバスは確認できていなかった。周辺の状況などからバスが本ため池に自力で泳いで辿り着くことは考えられず、違法行為であるが別の産地から生きたまま運搬・移植されたものと推測される。

---

1) TSUJI, Yusuke 〒780-0002 高知県高知市重倉266-2 株式会社相愛 自然環境調査課  
Email: y.tuji@soai-net.co.jp

その後、状況確認のため、2017年8月6日に再訪したところ、ため池が渇水のため干上がっており、バスもすべて死亡していた（図A～D）。多くの稚魚の他、目視で5個体ほどしかカウントできていなかった未成魚～成魚が20個体弱みつかった。6月の調査で見逃していたものと思われるが、追加で放流されたという可能性もある。この水枯れ以降、何度か当地を訪れたが、バスは確認されておらず、絶滅したものと思われた。おそらく当地は今回のような水枯れが定期的に起こっているため、飛翔による移動が可能であったり、乾燥への耐性がある種のみで水生生物相が構築されているものと考えられる。

以上、山間部の孤立した小規模なため池におけるバスの確認と絶滅の記録である。放流の確認から絶滅までは短期間であったが、本種は短い日数であっても在来生態系に強い捕食圧を与え、水域の水生生物を急減させることが報告されている（藤本ほか、2009）。筆者は影響を検証できていないが、当地に生息する水生生物に被害を与えていた可能性は高いだろう。



図A：干上がった池の様子(南側)， B：干上がった池の様子(北側)  
C：オオクチバスの死体(全体)， D：オオクチバスの死体(アップ)

## 謝 辞

原稿を確認していただいた株式会社相愛の近藤英文さまに厚くお礼を申し上げます。

## 引用文献

- 赤星鉄馬（1996）ブラックバス．イーハトーヴ出版株式会社，東京，pp.25-26.  
丸山 隆（2002）川と湖沼の侵略者ブラックバス その生態学と生態系への影響．恒星社 厚生閣，東京，pp.99-125.  
畑間俊弘（2006）山口県におけるオオクチバス生息状況．山口県水産研究センター研究報告，4：129-

134.

藤本泰文・星 美幸・神宮字 寛 (2009) 侵入直後のオオクチバス *Micropterus salmoides* が短期間のうちに溜め池の生物群集に及ぼした影響. 伊豆沼・内沼研究報告, 3: 81-90.

